

きずな

NO.212 2021 4月号

# こんにちは **日本共産党** 中村れい子

市政報告です



発行：日本共産党高槻市議員団 市会議員・中村れい子 事務所/☎569-1114 高槻市別所中の町3-7 ☎681-8480 自宅/古首部町2丁目15-8-606 ☎685-6636

## 3月市議会で提案された施策

# 中学校での35人学級、新型コロナウイルス対策など要求していたことが実現

## 小学校に次いで、中学校でも35人学級が実現

日本共産党高槻市会議員団は、小学校での35人学級の良さを中学校でもと要望し、市議会が必要を発言して

ケースがあります。高槻市では、市独自に教員を雇用し配置してきました。中学校の35人学級でも教員を増やして対応します。

## プレミアム商品券再度発行

が小学1年で35人学級を実施し、府が2年で、高槻市は3年から6年

「スクラム高槻 地元のお店応援券」は13億円の消費につながり、市民と事業者への支援になりました。4月以降に2回目の商品券を発行します。昨年と同じ

ように1冊50000円の商品券を20000円で、1世帯2冊まで購入できます。

国が来年4月から5年かけて小学校全学年で35人学級にする方針を出しました。高槻市はこれを受けて、来年4月から中学1年で、2023年4月から中学校の全学年で35人学級を実施します。大阪府内では初めてです。

そのほかにも、水道の基本料金を2か月半額にします。

そのほかにも、水道の基本料金を2か月半額にします。

## 浸水想定を百年に1度から千年に一度に変更

全国で35人学級を実施している自治体で、教員を増やさず、国

ハザードマップを更

24時間の降雨量290

から今年全世帯に配布します。大阪府管理の河川の浸水想定を、

ハザードマップを更

24時間の降雨量290

安全に避難できる避難 所が必要です。

3月市議会の本会議で中村玲子市議が質問した内容です。その一部を掲載します。

## 市の財政状況は健全

新年度の予算では新型コロナウイルスの影響があり、市税収入は19億円の減収ですが、減収を補うために、国から地方特例交付金が12億1千万円増やされます。

減収のうち法人市民税が一番多く9億6,700万円減りました。新型コロナウイルスの影響による収入減による影響額は約5億2,600万円です。残りの4億4千万円は、法人市民税の税率を引き下げて、国の税金として地方法人税に移行するためです。こんな時に国が地方の税金を吸い上げるようなやり方は問題です。

市の財政調整基金は何にでも使える貯金です。新年度で10億円取り崩しますが、それでも134億円残ります。高槻市の規模では100億円あればいいとされています。コロナ対策として、今年3月末までの1年間で、市独自に67億円使いました。4月以降もコロナの影響は続きます。今後も困っている人への支援の財源はあります。

